



眼科 薄井医師の 『眼の健康相談』

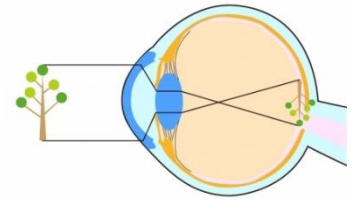
平成 28 年 7 月 7 日（木）本館 1 階ライブラリーにて、副院長・眼科顧問の薄井医師による『眼の健康相談』を開催致しました！！

当日は 36 度の猛暑日にも関わらず、13 名もの患者さまにお集りいただき、公開講座は大いに盛り上がりました！中には、遠方からお越しいただいた患者さまもおりました。

今回も笑いが起こる楽しい公開講座となりましたよ(^_^)！

皆さまはどれだけの眼の病気を知っていますか？

白内障、緑内障、結膜炎、網膜剥離など、生活に支障が出る眼の病気になる確率は、残念ながら年齢とともに増えてしまいます。



そして、皆さまも一度は耳にしたことがある白内障という病気。

白内障とは、眼の中のレンズの役割をする水晶体が濁ってしまい、モノが見えにくくなってしまう病気です。そして、誰もが 60 歳を過ぎる頃には、白内障の進行が進んでしまいます。手術をする以外治療する方法がありません。

白内障手術は、濁った水晶体を取り除き、そのままではレンズがなくなってしまうため、その代り人工の水晶体（眼内レンズ）を挿入します。そうすることで、視力を取り戻し、モノが見える様になります。

では、一体どのようにして、眼の中にレンズを挿入するのでしょうか？

眼の中にレンズを入れるには、どれくらい切る必要があるのでしょうか？

答えは、ぜひ公開講座に足を運んでいただき、聴いていただきたいです！



実は、公開講座を開いている理由は、病気に関する知識を深めてもらいたいという気持ちだけではありません。

患者さまが疑問に思ったこと、診察室では聞きにくいことなど、「聞くことができる場」をできるだけ設けたいと思っているからです。

ぜひ参加していただき、先生の公開講座を聴いて、分からないことや相談したいことを聞いてみてくださいね！

経営推進部 板垣 翔子

次回の「眼の健康相談」は、8 月 4 日（木）15：00～ 本館 1 階ライブラリーにて開催いたします。
多くの皆さまのご参加お待ちしております☆彡